

Title	シンポジウム・セミナー・講演会の綺羅奥：一九九七-二〇一〇(聖学院大学総合研究所日韓現代史研究センター)
Author(s)	聖学院大学総合研究所
Citation	聖学院大学総合研究所紀要, 第50号別冊 日・韓国際学術シンポジウム「東アジアの平和と民主主義」特集号, 2011.3 : 93-105
URL	http://serve.seigakuin-univ.ac.jp/reps/modules/xoonips/detail.php?item_id=3174
Rights	



聖学院学術情報発信システム：SERVE

SEigakuin Repository for academic archiVE

聖学院大学総合研究所
日韓現代史研究センター

シンポジウム・セミナー・講演会の記録
1997-2010

聖学院大学総合研究所では、1999年7月、元統一部長官、康仁徳先生を客員教授に迎え、2002年10月に「日韓現代史研究センター」を設立して、日韓関係の歴史と現在の課題を研究してきた。しかしそれ以前から、池明観客員教授を中心として、朝鮮半島の政治状況を研究するシンポジウムを開催していた。日韓現代史研究センター設立以前から、いわば十年に及ぶ研究活動が続いているのである。なお、所属、肩書は当時のものである。

1. 1997年10月28日

国際シンポジウム「南北朝鮮の現状を語る」（東京芸術劇場大会議室）

パネリスト：池 明観（翰林大学校日本学研究所長）

河上 民雄（聖学院大学大学院客員教授）

秋元 千明（NHK国際部記者）

司会： 鐸木 昌之（聖学院大学政治経済学部助教授）

2. 1998年7月22日

講演会「朝鮮半島の現状と日本の役割」（聖学院大学4号館4401教室）

講演者： 岸 俊郎（NHKソウル支局長）

司会： 鐸木 昌之（聖学院大学政治経済学部助教授）

3. 2000年2月12日

国際シンポジウム「南北朝鮮の現状を語る——統一に向かう朝鮮半島」
（東京芸術劇場中会議室）

パネリスト：康 仁徳（元大韓民国統一部長官，聖学院大学総合研究所客員教授）

小田川 興（朝日新聞社編集委員）

司会： 鐸木 昌之（聖学院大学政治経済学部助教授）

4. 2002年11月8日

講演会「日本の朝鮮支配の本質——『内鮮一体』を中心に」（聖学院本部新館集会室）

講師： 宮田 節子（早稲田大学講師）

司会： 小田川 興（聖学院大学総合研究所客員教授）

5. 2003年2月15日

国際シンポジウム「東アジアの平和と民主主義——日韓関係を軸に——」（池袋・メトロポリタンプラザ会議室）

基調講演：池 明観（翰林大学校日本学研究所長）

パネリスト：康 仁徳（聖学院大学総合研究所客員教授）

清田 治史（朝日新聞社総合研究本部本部長）

司会： 小田川 興（聖学院大学総合研究所客員教授）

6. 2003年11月1日

聖学院大学講演会「盧武鉉政権の対北政策展望——6カ国会談のゆくえと朝鮮半島情勢——」（池袋サンシャインシティ文化会館701室）【参加者70名】

講演者： 康 仁徳（聖学院大学総合研究所客員教授）

司会・コメンテータ：小田川 興（聖学院大学総合研究所客員教授）

7. 2004年2月14日

国際シンポジウム「東アジアの平和と民主主義——北朝鮮問題と日中韓の役割——」（都市センターホテル6階601会議室）【参加者95名】

基調講演： 朱 建栄（東洋学園大学教授）

パネリスト：康 仁徳（聖学院大学総合研究所客員教授）

加藤 洋一（朝日新聞社外報部次長）

司会： 小田川 興（聖学院大学総合研究所客員教授）

8. 2004年6月19日

聖学院大学講演会「アメリカの対北朝鮮政策」（池袋・メトロポリタンプラザ12階会議室）【参加者107名】

講演：「アメリカの対北朝鮮政策」

講師： ヤン・C・キム（ジョージ・ワシントン大学名誉教授）

コメンテータ：康 仁徳（極東問題研究所所長，聖学院大学総合研究所客員教授）

コーディネータ：小田川 興（聖学院大学総合研究所客員教授）

後援：朝日新聞社

9. 2005年2月19日

聖学院大学国際学術シンポジウム「東アジアの平和と民主主義——日韓国交40年と日本の針路——」（都市センターホール会館6階606会議室）【参加者107名】

記念講演： 孔 魯明（元韓国外相，翰林大学日本学研究所所長）

基調講演： 木宮 正史（東京大学助教授）

パネリスト：孔 魯明（元韓国外相，翰林大学日本学研究所所長）
木宮 正史（東京大学助教授）

水野 孝昭（朝日新聞政治部次長，元ワシントン特派員）

李 元徳（韓国国民大学教授，東京大学客員教授）

康 仁徳（極東問題研究所所長，聖学院大学総合研究所客員教授）

モデレーター：小田川 興（聖学院大学総合研究所客員教授）

後援：朝日新聞社，助成：日韓文化交流基金

10. 2005年7月28日

第一回日韓中学術セミナー「北朝鮮の改革可能性——中国の改革との比較を中心に」（ソウル・北韓大学院大学校国際会議室）

講演：

「北朝鮮の農業生産の実情と農業改革の見通し」

南 成旭（高麗大学教授）

「中朝貿易から見る北朝鮮経済の現状」

鈴木 典幸（ラヂオ・プレス理事）

「中国の改革開放政策は北朝鮮にとって参考になるか」

朱 建栄（東洋学園大学教授）

「北朝鮮における市場の形成と発展——実態と含意」

梁 文秀（北韓大学院大学助教授）

パネル・ディスカッション：

南 成旭，鈴木典幸，朱 建栄，梁 文秀

コメンテータ：李 日栄（韓神大学教授）

尹 洪錫（極東問題研究所研究員）

康 仁徳（極東問題研究所所長，聖学院大学総合研究所客員教授）

司会： 小田川 興（聖学院大学総合研究所客員教授）

共催：極東問題研究所，助成：国際交流基金

11. 2005年11月18日

第二回日韓中学術セミナー「北朝鮮の改革可能性——中国の改革との比較を中心に」（東京・聖学院本部新館集会室）

講演：

「北朝鮮の最近の食糧事情と配給制復活の意味」

南 成旭（高麗大学教授）

「中朝貿易から見る北朝鮮経済の現状」

鈴木 典幸（ラヂオ・プレス理事）

「中国の改革開放政策は北朝鮮にとって参考になるか」

朱 建栄（東洋学園大学教授）

「北朝鮮における市場の形成と発展——実態と含意」

梁 文秀（北韓大学院大学助教授）

パネル・ディスカッション

南 成旭，鈴木典幸，朱 建栄，梁 文秀

コメンテータ：李 虎男（中央大学研究員）

朴 尚絃（極東問題研究所研究員）

康 仁徳（極東問題研究所所長，聖学院大学総合研究所客員教授）

司会： 小田川 興（聖学院大学総合研究所客員教授）

12. 2006年2月18日

国際シンポジウム「東アジアの平和と民主主義——北朝鮮問題の解決の道を探る」（池袋・メトロポリタンプラザ12階会議室）【参加者143名】

基調講演： ヤン・Ｃ・キム（ジョージ・ワシントン大学名誉教授）

パネル・ディスカッション：

ヤン・Ｃ・キム（前掲）

金 慶敏（漢陽大学政治外交学科教授）

中村 史郎（朝日新聞外報部次長）

李 虎男（亜細亜大学アジア研究所研究員）

モデレーター：小田川 興（聖学院大学総合研究所客員教授）

後援：朝日新聞社

13. 2006年7月28日

日韓中学術セミナー「北朝鮮の改革可能性——中国の改革との比較を中心に」（ソウル・北韓大学院大学国際会議室）

講演：

「北朝鮮の2002年経済管理改善措置4年の評価と課題」

南 成旭（高麗大学教授）

「移行経済における初期条件の比較と政治状況」

李 鋼哲（総合研究開発機構主任研究員）

「中朝の経済関係——中国の視点から」

今村 弘子（富山大学教授）

「北朝鮮経済は回復しているのか」

鈴木 典幸（ラヂオ・プレス理事）

「経済難以降，北朝鮮の社会変化」

徐 載鎮（統一研究院専任研究員）

「北朝鮮の変化を促進させる韓・中・日3カ国の共助強化」

康 仁徳（極東問題研究所所長，聖学院大学総合

研究所客員教授)

パネル・ディスカッション

南 成旭, 李 鋼哲, 今村弘子, 鈴木典幸, 徐 載鎮, 康 仁徳
尹 洪錫 (極東問題研究所研究員)

司会: 小田川 興 (聖学院大学総合研究所客員教授)

共催: 極東問題研究所, 助成: 国際交流基金

14. 2006年11月17日

第三回日韓中学術セミナー「北朝鮮の改革可能性——中国の改革との比較を中心に」(東京・聖学院本部新館集会室)

講演:

「核実験以降, 国際社会の対北朝鮮制裁と北朝鮮経済の評価及び見通し」

南 成旭 (高麗大学教授)

「北朝鮮経済は持ちこたえることができるのか」

鈴木 典幸 (ラヂオ・プレス理事)

「中朝の経済関係——中国の視点から」

今村 弘子 (富山大学教授)

「経済難以降の北朝鮮の社会変化」

徐 載鎮 (統一研究院専任研究員)

「北朝鮮の現状と改革政策」

康 仁徳 (極東問題研究所所長, 聖学院大学総合
研究所客員教授)

「中国の北朝鮮政策の大転換——北朝鮮のミサイル発射・核実験後の
変化をめぐる検証」

朱 建栄 (東洋学園大学教授)

パネル・ディスカッション

南 成旭, 『放任主義』経済か『改革・開放』経済か」李 鋼哲 (総
合研究開発機構主任研究員), 今村弘子, 鈴木典幸, 徐 載鎮, 康
仁徳, 朱 建栄

司会: 小田川 興 (聖学院大学総合研究所客員教授)

共催: 極東問題研究所, 助成: 国際交流基金

15. 2007年2月17日

日韓シンポジウム「東アジアの平和と民主主義——北朝鮮問題と日韓中の役割」(メトロポリタンプラザ会議室)

基調講演：伊豆見 元 (静岡県立大学教授)

康 仁徳 (極東問題研究所所長, 聖学院大学総合研究所客員教授)

報告： 金 熙徳 (中国社会科学院日本研究所副室長)

渡辺 勉 (朝日新聞政治部次長・前ワシントン／ソウル特派員)

パネル・ディスカッション：

伊豆見 元, 康 仁徳, 金 熙徳, 渡辺 勉

モデレーター：小田川 興 (聖学院大学総合研究所客員教授)

後援：朝日新聞社

16. 2007年9月21日

第四回日韓中学術セミナー「北朝鮮の改革可能性——核実験後の政策展開を中心に」(ソウル・北韓大学院大学国際セミナー室)

講演：

「北朝鮮の核問題の解決なしに北東アジアの平和はない」

康 仁徳 (極東問題研究所所長, 聖学院大学総合研究所客員教授)

「核実験後の北朝鮮の政治情勢」

鈴木 典幸 (ラヂオ・プレス理事)

「北朝鮮の改革・開放の可能性——第2次南北首脳会談後の北朝鮮の

「6カ国協議戦略と経済改革を中心に」

南 成旭 (高麗大学教授)

「北朝鮮核問題が北朝鮮の体制耐久力に及ぼす影響」

洪 性国 (極東問題研究所・北韓研究室長)

「核実験後の中朝間の政治・経済関係の変化と展望」

李 鋼哲 (北陸大学教授)

「日朝交渉の経過と展望——日朝国交正常化に向けて」

遠藤 哲也 (元日朝国交正常化交渉日本政府代表)
「北朝鮮の核、6カ国協議とアメリカの対応」
ヤン・C・キム (ジョージ・ワシントン大学名誉教授)
パネル・ディスカッション
南 成旭, 李 鋼哲, ヤン・C・キム, 鈴木典幸, 洪 性国,
康 仁徳, 遠藤哲也, 尹 洪錫 (極東問題研究所研究員)
司会: 小田川 興 (聖学院大学総合研究所客員教授)
共催: 極東問題研究所, 助成: 国際交流基金

17. 2008年2月16日

国際学術シンポジウム「東アジアの平和と民主主義——北朝鮮の改革可能性: 核実験後の政策展開を中心に」(メトロポリタンプラザ会議室)

講演:

「中国の東北アジア外交への展望——六者協議と北朝鮮改革への関与を中心に」

朱 建栄 (東洋学園大学教授)

「朝鮮半島における平和体制形成の可能性」

康 仁徳 (極東問題研究所所長, 聖学院大学総合研究所客員教授)

「北朝鮮の核とブッシュ政権の対応」

ヤン・C・キム (ジョージ・ワシントン大学名誉教授)

「核実験後の北朝鮮の政治・経済情勢」

鈴木 典幸 (ラヂオ・プレス理事)

「韓国の『北朝鮮の変化』についての論争と北朝鮮の改革の可能性」

洪 性国 (極東問題研究所・北韓研究室長)

「六者協議の進展と中朝間の政治・経済関係」

李 鋼哲 (北陸大学教授)

「日朝国交正常化交渉のゆくえ」

遠藤 哲也 (元日朝国交正常化交渉日本政府代表)

「北朝鮮の政治構造と改革可能性の関係性」

柳 吉在 (北韓大学院大学教授)

パネル・ディスカッション

柳 吉在, 李 鋼哲, ヤン・C・キム, 鈴木典幸, 洪 性国,
康 仁徳, 遠藤哲也

コメント:

「北朝鮮の対日政策——国交正常化に向けた政策展開とその特徴」

尹 洪錫 (極東問題研究所研究員)

司会: 小田川 興 (聖学院大学総合研究所客員教授)

後援: 朝日新聞社, 助成: 国際交流基金

18. 2008年5月24日

講演会「戦後日本の歴史認識を問う——日本人は大きな忘れ物をしていないか」(東京・女子聖学院クロソン・ホール)

講師: 中塚 明 (奈良女子大学名誉教授)

コメント: 康 仁徳 (極東問題研究所所長, 聖学院大学総合研究所客員教授)

司会: 小田川 興 (聖学院大学総合研究所客員教授)

19. 2009年2月7日

シンポジウム「東アジアの平和と民主主義——北朝鮮問題への対応策」

(メトロポリタンプラザ会議室)【参加者158名】

基調講演:

「米国の北朝鮮政策と東アジア安全保障」

ヤン・C・キム (ジョージ・ワシントン大学名誉教授)

「中国の東アジア外交と北朝鮮政策」

朱 建栄 (東洋学園大学教授・在日華人教授会
会長)

パネル・ディスカッション:

ヤン・C・キム

朱 建栄

康 仁徳 (極東問題研究所理事長・所長, 聖学院大学総合研究所客員教授)

遠藤 哲也 (元日朝国交正常化交渉日本政府代表, 元原子力委員会委員長代理)

- 水野 孝昭 (朝日新聞社論説委員)
「北朝鮮核問題解決への課題と国際関係」
- 今村 弘子 (富山大学極東地域研究センター教授)
「北朝鮮の経済改革の現状と展望」
- 徐 薫 (元国家情報院北朝鮮担当次長, 韓国・梨花大学教授)
「北朝鮮の政治・軍事・外交体制」
- 任 成彬 (長老会神学大学校教授)
「韓国における北朝鮮問題への認識」

コメンテータ :

- 尹 洪錫 (極東問題研究所責任研究員)
「北朝鮮の対日政策」
- 宮本 悟 (日本国際問題研究所研究員)
「北朝鮮の軍事力」

コーディネータ : 小田川 興 (聖学院大学総合研究所客員教授)
「朝鮮半島事情, 東アジア平和論」

後援 : 朝日新聞社, 助成 : 東京倶楽部

20. 2009年10月17日 (土)

学術セミナー「東アジアの平和と民主主義——北朝鮮問題の展望」(聖学院本部2階集会室)【参加者57名】

講演 : 「東アジアの平和と民主主義——北朝鮮問題の展望」

康 仁徳 (極東問題研究所理事長・所長, 聖学院大学総合研究所客員教授)

討論 : 小此木政夫 (慶應義塾大学法学部教授)

遠藤 哲也 (元日朝国交正常化交渉日本政府代表)

宮本 悟 (聖学院大学総合研究所准教授)

司会 : 小田川 興 (聖学院大学総合研究所客員教授)

21. 2010年2月6日 (土)

国際学術シンポジウム「東アジアの平和と民主主義——北朝鮮問題と地域安定基盤の構築」(メトロポリタンプラザ会議室)【参加者167名】

講演 :

「朝鮮半島統一と日本の役割」

小此木政夫（慶應義塾大学法学部教授）

「米国の対北朝鮮核政策とアジアの安全保障」

ヤン・C・キム（ジョージ・ワシントン大学名誉教授）

基調報告：

「南北関係と北朝鮮の政治・経済の現状」

康 仁徳（極東問題研究所理事長・所長，聖学院
大学総合研究所客員教授）

「中国の21世紀【大外交】と北朝鮮問題への対応」

朱 建榮（東洋学園大学人文学部教授）

「ロシアの対北朝鮮政策の要点」

コンスタンチン・サルキソフ（山梨学院大学教授）

「日朝関係と国交正常化問題の現状と展望」

遠藤 哲也（元日朝国交正常化交渉日本政府代表）

報告：

「民間レベルにおける北朝鮮との交流」

任 成彬（長老会神学大学校教授）

「北朝鮮核問題の課題——米朝関係を中心に」

水野 孝昭（朝日新聞社論説委員）

コメント：

「2010年の北朝鮮の新年共同社説と北朝鮮問題の行方」

尹 洪錫（極東問題研究所責任研究員）

「北朝鮮の軍事力」

宮本 悟（聖学院大学総合研究所准教授）

パネル・ディスカッション

コーディネータ：小田川 興（聖学院大学総合研究所客員教授）

後援：朝日新聞社，助成：国際交流基金

22. 2010年9月17日（金）

国際学術シンポジウム「東アジアの平和と民主主義——北朝鮮問題と日韓の役割」（会場：韓国ソウル・韓国プレスセンター）共催：韓国・極東問題研究所，韓半島平和研究院【参加者：200名】

◇挨拶 洪 良浩（韓国統一省次官）

◇第1部（講演）

コーディネーター：小田川 興（聖学院大学総合研究所客員教授）

▽講演

尹 永寛（韓半島平和研究院院長，韓国・元外交通商省長官）

「東アジアと朝鮮半島平和のための日韓協力」

ヤン・C・キム（米ジョージワシントン大学名誉教授）

「米国の対北朝鮮政策と国連の対応」

小此木政夫（慶應義塾大学教授）

「北朝鮮問題と日本の役割」

金 千植（韓国統一省政策室長）

「北朝鮮問題と東アジアの地域安定：韓国の立場」

◇第2部（報告とコメント）

コーディネーター：康 仁徳（極東問題研究所理事長・所長，聖学院大学総合研究所客員教授）

▽報告

洪 性国（韓国・極東問題研究所北韓研究室長）

「北朝鮮経済の最近の動向と展望」

超 明哲（韓国・対外経済政策研究院統一国際協力チーム長）

「中国の対北支援が北朝鮮に及ぼす影響」

遠藤 哲也（元日朝国交正常化交渉担当大使，元原子力安全委員会委員長代理）

「日朝関係と国交正常化問題の現状と展望」

▽コメント

任 成彬（韓国・長老会神学大学校教授）

「韓国の民間団体の対北援助に関する現状と類型分析」

宮本 悟（聖学院大学総合研究所准教授）

「日本の対北朝鮮支援の現状と課題」

◇第3部（ディスカッション）参加者全員

コーディネーター：尹 永寛

◇総括 康 仁徳

共催：極東問題研究所，韓半島平和研究院，助成：東京倶楽部

23. 2011年2月26日（土）

学術セミナー「北朝鮮問題と日韓米の対応」（女子聖学院クローソンホール）【参加者193名】

講演：

「オバマ政権の東アジア政策と米朝関係」

李 鍾元（立教大学副総長）

「北朝鮮の三代世襲が南北関係に及ぼす影響」

康 仁徳（極東問題研究所理事長・所長，聖学院
大学総合研究所客員教授）

司会：小田川 興（聖学院大学総合研究所客員教授）